

## 実施による工夫と得られる効果一覧

工夫 1: 事務局以外の各委員会より役員選考委員を 1 名以上選出する。

効果 1: 事務局は第一回臨時総会と第二回臨時総会の中心となるため、役員選考委員を外し、その他の各委員会より選考することで、所属委員会が担当する事業実施に対して著しい負担とならないことが期待される。

工夫 2: 入会歴や出向歴などを総合的に判断して委員を選任する。

効果 2: 経験者を選任することで、意見の偏りを防ぎ、幅広い観点から議論されることが期待できる。

工夫 3: 監事、理事予定者の選出については、臨時総会での投票とする。

効果 3: 臨時総会での投票とすることで、緊張感のある厳粛な環境下を作ることができ、2026 年度監事、理事予定者の意識を向上することができる。

工夫 4: 第一回臨時総会にて理事予定者の投票を行い、第二回臨時総会にて理事予定者の指名を行う。

効果 4: 第一回臨時総会終了後、第二回臨時総会の理事予定者の指名を行うまで、期間を設けることで 2026 年度の組織を検討する時間を取ることができる。